

編集後記

2019年12月に中国武漢で原因不明の重篤肺炎が発生し、原因として新しいコロナウイルスが検出されました。2020年2月11日に国際ウイルス分類委員会（ICTV）がSARS-CoV-2（Severe acute respiratory syndrome coronavirus 2の略称）と正式命名したこのウイルスによる新型コロナウイルス感染症をWHO（世界保健機関）はCOVID-19と命名しています。2020年4月7日に第1回目の緊急事態宣言ののち5月末には宣言解除されましたが、年末からの感染拡大を受け2021年1月7日には再度緊急事態宣言が発出されました。

東海大学におきましても、2020年4月4日より構内への入構禁止と課外活動（クラブ活動・サークル活動等）禁止、春学期は遠隔授業となりましたが、クラブ活動も7月から感染対策を行いながら段階的に開始されました。2020年度は様々活動を感染対策の管理下で行っているため、本研究所の活動はヒトの身体活動が主体でありますので、2019年度に開設されたSHIP（Sports & Health Innovation Plaza）、低酸素環境実験室などそのほとんどが制限されています。

しかしながら、感染対策の活動の中で医学部や健康推進センターとの連携など新たな分野での活動も行うことができました。今後もアスリートのため、その他のすべての運動にかかわる人に貢献できる研究所を目指していききたいと思います。

東海大学スポーツ医科学雑誌も第33号の発刊の運びとなりました。本年度も発刊を迎えられたことに安堵しています。第33号刊行にあたって、ご寄稿いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

編集委員長 宮崎 誠司